

TCA

—NEWS—

Vol.13 夏号

発行

富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (0764) 42-1109 FAX (0764) 42-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



モジ・ダス・クルーゼス市=ダニエル メロー氏の油絵

モジ・ダス・クルーゼス市にある入植者記念像。

現地を訪れた日本人・日系人が必ず案内されるという最初の日本人入植者を称えた銅像です。
前富山市教育長 雲井俊彦氏が1995年11月にモジ市を訪問した際贈呈されたものです。

会員募集

広げよう友情の輪

平成8年度富山市民国際交流協会総会は、会員等130余名が出席し、石田富山市助役、五本富山市議会議長、三個(財)とやま国際センター専務理事を来賓に迎え、開催されました。

久保田会長あいさつ、来賓の祝辞のあと、議事に入り「任期満了に伴う役員の選任」について等が承認されました。

また、総会記念講演は、ミスター・フィランソロピー「なべさん」こと渡辺一雄氏による「日米のフィランソロピー比較」があり、“フィランソロピーの報酬は感動である”に会場は深い感銘を受けました。引き続き行なわれました懇親会では、盛況のうちに会員相互の親睦を深めました。

会長あいさつ

富山市民国際交流協会 会長 久保田照雄

本協会は、富山市民と諸外国の人々との交流と相互理解の促進を目的として平成5年に設立され、本年1月で4年目を迎えたところであります。会員数も個人会員432名、法人会員75団体と増加傾向にあり、富山市における国際交流の担い手として、着実にその基盤を固めてきております。一方、協会事業といたしましては、「東アジア国際交流フェスティバル」の開催をはじめ姉妹友好都市への親善訪問団の派遣、外国人を対象とした日本語講座、市民を対象とした中国語講座等の開講、機関紙「TCAニュース」の発行など、年々充実してきております。

また、昨年9月には、秦皇島市の青少年を対象とした日本語を学ぶ人への奨学金に関する協定書の調印も行っておりまいた。これもひとえに、理事の皆様をはじめ各専門委員長の皆様、そして、熱心に活動されている会員の方々のご努力のたまものと感謝いたしております。人の喜びを自分の喜びとするボランティア活動に支えられる当協会といたしましては、皆様方の自発的な活動こそ大きな成果を生むものと思っております。今後とも「市民一人ひとりが主人公の国際交流」を基本に、教育・文化・スポーツ・産業経済等の広範な分野で国際交流を進めていきたいと考えておりますので、本総会において、平成8年度事業など皆様に十分ご審議いただきますようお願いいたしまして、簡単であります私の挨拶といたします。

市長祝辞

富山市長 正橋 正一

現在、本市に2,200人を超える外国人の皆様方が生活されておりますが、市民の皆さんとの交流の機会も増え、外国の文化がとても身近に感じられるようになってまいりました。また近年、国際交流団体の活動が定着し、市民一人一人が国際交流の担い手として、教育・文化・スポーツなど様々な分野で、国際交流や国際協力活動が推進されておりますことは、誠に感同慶にたえません。

昨年は、富山市民国際交流協会が中心となられまして、「東アジア国際交流フェスティバル'95」が開催されました。同フェスティバルでは、韓国ウィークと銘打たれまして、伝統芸能「パンソリ」の上演など、韓国の文化が広く紹介されたところですが、大変好評を博し、内外から高い評価を受けられたとお聞きしております。さらに、モジ・ダス・クルーゼス市への福祉用衣類や図書の寄贈事業にあたりまして、協会の皆様の全面的なご協力をいただきましたことに対し、改めて感謝申し上げる次第であります。

本年は、富山市が、秦皇島市と友好都市を締結して15周年を迎えることから、両市で様々な交流事業を予定しておりますが、貴協会におかれまして、昨年に引き続き、「東アジア国際交流フェスティバル'96」を開催されると伺っております。この機会に市民一人ひとりが中国の伝統文化の一端に触れ、中国をより深くご理解していただくとともに、日中友好の発展に一層努めていただければ幸いです。

議長祝辞

富山市議会議長 五本 幸正

近年の国際関係は、環境問題や資源食料問題など一国だけでは対応できない地球規模の多くの課題を生み出しております。そのため、わが国にとっては欧米先進国との交流はもとよりアジア諸国との友好交流や、発展途上国への理解を深めるなど、積極的に国際交流活動を展開していくことが強く求められております。本市においては、従来から、モジ市、ダーラム市、秦皇島市等の姉妹友好都市との間において、人的派遣などの相



← 総 会

懇 親 会
富山県民会館
「キャッスル」



互交流など国際交流事業が活発に推進されているところであります。また、環日本海交流の一つとして位置付けされたソウル便やウラジオストック便が定着し多くの外国の方々が本市を訪れ、観光のみならず文化・スポーツ・産業などに幅広く富山市民との交流の輪が広がりつつありますことは大変喜ばしいことであります。

しかしながら、近年の急速な国際化の進展は、国あるいは都市間の交流活動はもちろんではありますが、今や、市民一人ひとりが直接触れ合い友情を育んでいく市民レベルの交流が最も大切なものとなってきております。

申すまでもなく、今後、国際化が一段と進むと考えられ、貴協会の果たす役割も大変重要になるうかと存じますので、市議会といたしましても事業活動に対し積極的に支援して参りたいと存じております。

(上記、要旨にてご紹介致しました。また、詳細については、総会資料をご覧ください。)

記念講演

「日米のフィランソロピー比較」

講師 三菱電機(株)顧問 渡辺 一雄氏

渡辺氏は、三菱電機の米国現地法人の社長として、富山市と姉妹都市であるノース・カロライナ州ダーラム市に長年勤務され、ダーラム市の名誉市民となられた日本を代表する国際人です。以下に講演の主旨をご紹介します。

日本にいる時は、企業は一生懸命に利益を出すことに専念し、雇用を拡大し、税金を地公体や国に納入することが社会貢献の全てであると考えていました。しかし、アメリカで企業経営をし、生活をしているうちに、アメリカの企業やアメリカ人は日本で考えていたのとは全く異なるフィランソロピーの考えをもっていることを、身をもって知ることができました。

それには一つのきっかけがありました。ダーラム・スタジアムで少年野球大会が開催されるということで、米国三菱電機として大きなスコアボードを寄付したところ、始球式に出よう要請がありました。大会当日になって始球式は市長がやることになったので、急遽アメリカ国歌を独唱することになりました。緊張や興奮で声がうわずりはじめた時、参加選手である少年達が囲りに集まって合唱となりました。そのことがテレビで何回も放映され、全国放送にまでなりました。このこと以来本当にアメリカ人の生活に透けこんだ日本人と認識されるようになり、会社においても地域社会においても取引先のアメリカ人からも身内としてのあつかいを受けるようになりました。

それまでは、フィランソロピーとはお金を付きあい程度に寄付してお茶をにごすことぐらいにしか思っていなかったのが、このことがあってから大きな精神的飛躍をとげることになったと思われます。アメリカ社会におけるフィラ



ンソロピーには基督教の影響が大きいと思われますが、地域や社会への貢献は一つの使命感として位置づけられています。

この使命感と税制面からの優遇もあり、社会福祉的なものへの寄付金の総額は1991年でアメリカでは12兆4,800億円で日本の50倍にもなっており、その内10兆円が個人からのものでした。

帰国後は、「個々人が社会のために役立つことを個々人の能力に応じて行う」ということ、「会社も同様にその能力に応じて地域社会に役立つことを行う」ということなど、自然にできる土壌の上で体験されたことを文化も歴史も異なる日本にも根づかせようと努力されています。

当協会のように個人、個人の努力によって支えられている国際交流の中から、社会貢献への使命感を実感していただければ幸であることを強調され、たくみな話術で参加者全員に深い感銘を与えられました。

プロフィール

三菱電機(株)入社、MITスローンスクール留学を経て1983年ダーラム市の三菱セミコンダクター・アメリカの社長として長期間アメリカに滞在。1989年6月の富山市とダーラム市との姉妹都市提携にご尽力。

現在は三菱電機(株)顧問、川崎医療福祉大学教授、厚生省社会福祉審議会委員、東大病院にこにこボランティア代表世話人などのほか多くの役職を勤めながら、執筆、講演、対談等によるフィランソロピー普及活動に努める。

平成8年度 活動始動

総務企画 委員会

委員長 牧野 新一

5月29日、東アジア国際交流フェスティバル'96実行委員会を発足しました。今年で3回目のフェスティバルは、富山市と秦皇島市が友好都市15周年を迎えることから、中国に焦点をあて、講演、パネルディスカッション、伝統芸能公演等の開催を通じて国際理解、国際交流の促進を図るため、各団体に呼びかけて、成功させようと実行委員長ほか各役員の選出をしました。

『東アジア国際交流フェスティバル'96』

- ・と き 平成8年11月23日～24日
- ・ところ 市民プラザ アンサンブルホール
- ・内 容 講演 中野良子氏
(女優、WILL国際文化交流センター主宰者)
パネルディスカッション・中国伝統芸能等ほか

委員長 小池 和子

ボランティア 委員会

日頃、熱心に国際交流ボランティア活動にかかわっておられる、武井雅子さん、堀江節子さん、井波純子さん、湯麗敏さんをパネリストとしてお招きし、パネルディスカッション「富山でできる国際交流ボランティア活動」を開催しました。日常身近でできる活動についてみんなで一緒に考えました。



6月22日(土) 市民プラザ3F AVスタジオ

国際教育 委員会

委員長 舟山 保

国際的教養人を目指して、必要な研修を行い、ひいては国際交流の貢献に努めることを目標に毎月一回各講座を年間継続して実施しています。

姉妹都市 委員会

委員長 窪田菊次郎

4月13日、国際交流“花見の会”を開催いたしました。市内在住の中国の人達とお弁当をひろげて異文化理解…を。

「中国では花見をしますか？(賞花嗎・シャンホワマ?)」「中国也賞花(ジョングォイエーションホワ・中国でも花見をしますよ)」「賞梅花(シャンメイホワ・梅の花見します)」

故郷を話したり、歌をうたったり、ゲームをしたりと、大人も子どももたのしい交流の一時を過しました。当日は、思いがけない春の大雪に桜のつぼみもちぢみあがり、枝は雪化粧で白い花が咲いたように見えました。



“花より
だんご”
呉羽山
長慶寺

委員長 舘盛 貞信

地域交流 委員会



5月15日から
6月2日まで
当センター

市内在住の外国の人たちとの友好親善と交流の一つである「異文化理解講座」の3年間をふり返って、写真パネル展を開催いたしました。

今年度も、7月7日(日)の民謡民舞講座を皮切りに、大正琴、日本舞踊、茶道、おわら踊、華道の異文化理解講座を6回開催します。奮って参加下さい。

入会ご希望の方は、奮ってご参集下さい。

1. 海外旅行・視察英会話入門クラス	第3水曜日 18:30～20:00
2. Newsヒヤリング・海外記事紹介クラス	第2火曜日 18:30～20:00
3. 『日本文化を英語で語ろう』クラス	第2火曜日 16:30～18:00
4. 日本語教員内容研修クラス	第2土曜日 10:00～11:30
5. 'TIME' 輪読クラス	第2土曜日 14:00～16:00
6. 通訳・ガイドトレーニングクラス	第4土曜日 14:00～16:00
7. 通訳・ガイド養成クラス	第4土曜日 10:00～12:00
8. 時事英作・サロンクラス	第2土曜日 10:00～12:00
9. 国際事情等研修クラス	随時

会員のみなさまへ(会費納入)のお願い

○会費 1口 3,000円

○納入方法 当センター窓口 北陸銀行市役所出張所 口座富山市民国際交流協会 普通預金No.4076440

広報 委員会

委員長 岡田 昌代

「国際交流ミニコミ紙誌フォーラム」

に出席しました。展示会場では、北海道から九州までの100数種のミニコミ紙誌の展示・観・自己紹介・各地の情報交換等自由交流をしました。また、基調講演、パネルディスカッションの後、実務担当者研修分科会があり、それぞれのまちの国際交流活動、ミニコミ紙誌の苦心、今後やりたいことなど、3つのグループに分かれて事例発表や意見交換を行なうなどの研修学習をしました。

ど、3つのグループに分かれて事例発表や意見交換を行なうなどの研修学習をしました。



6月6日
東京都
赤坂
コミュニティ
ぶらざ3F

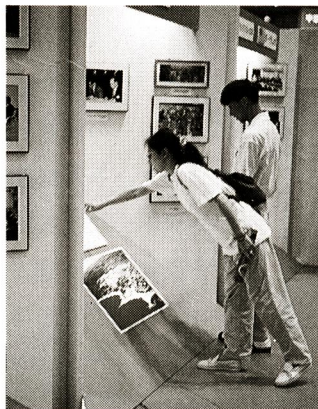


6月21(金)

～23日(日)

富山市産業展示館
(テクノホール)

「世界の観光と物産展」が開催され、当協会は姉妹友好都市との活動状況を写真展示し、協会のPR・会員募集を行いました。



カンボジアNGO活動

『風と光りとスコールの中で・自立への活動』

講師 松本 清嗣氏

NGO国際協力団体

「るしな・こみゅにけーしょん・やほねしあ」代表

富山市国際ボランティア貯金普及推進協議会(会長正橋正一富山市長)では、国際ボランティア貯金加入者2,000万人到達記念講演会を開催しました。

カンボジア・バットン

バン州で、農業の技術向上や医療保健教育、家庭菜園の普及など「コミュニティの自立」を助ける活動をスライド写真を使いながら報告などをされました。



6月7日 富山中央郵便局
ゆうあいホール

お知らせひろば

富山市民国際交流協会外国語講座

会場 富山市国際交流センター

日 本 語	毎週火曜日 19:00～20:50
中 国 語	毎週金曜日 18:30～20:10
ハ ン グ ル 語	毎週金曜日 18:30～20:10
スペイン語(中級)	毎週水曜日 19:00～21:00
〃 (初級)	毎週金曜日 19:00～21:00

県内在住外国人綱引交流会

「第8回全国勤労者綱引大会」に併せて行われる県内在住の外国人による綱引チームの参加者募集中!

- ・と き 8月3日(土)～4日(日)
- ・ところ 三協アルミススポーツセンター(高岡市)
- ・綱引チーム参加者は、県内視察(立山黒部アルペンルート)も予定されています。(8月11日(日)8:10～)

身近かのでできる国際協力

TCAでは、ケア ジャパン、アフリカ友の会、名古屋国際センター等を通して民間NGO活動資金の一部に協力します。

一協会窓口で受付けるもの一

書き損じハガキ、未使用ハガキ、未使用切手、未使用テレホンカード、使用済テレホンカード、オレンジカード、ハイウェイカード

●皆様の暖かいご協力をお待ちしています。

一お問合せは 富山市民国際交流協会 TEL (0764) 42-1109まで一



ニインハオ ホワンイン ダオ シンジャポウ ライ
「您好」 「欢迎」 到 新加坡 来」...

「こんにちは」「シンガポールからよくいらっしゃいました」

5月21日
富山市役所表敬訪問



▼5月21日 富山観光ホテル



5月7日にシンガポールを出発した星日文化協会日本訪問団の人たちは、5月20日から22日まで、富山市を訪問されました。富山市翼の会とW・W・T(ウイメンズウイングトヤマ)の仲間たちは、ガラス工芸や土人形を見学・体験したり、また、交流会でカラオケやゲーム、そしておわらの輪おどりなどで楽しく国際親善を深めました。

「とやま国際理解教育研究会」の発足

富山市において、市民参加型の国際理解活動の推進のための手法の研究と、普及の必要性を痛感した担い手達のネットワークにより、Toyama International Education study group: 略称 T I E が発足し、設立総会が開催されました。地球規模で起こっている様々な問題の解決に向けて参加体験型の学習で、国際理解教育を研究、実施し、また地球規模で考えながらの地域づくりをめざすことを目的としています。

富山で進める地球市民づくりのための研究会にあなたも参加



しませんか!

〈お問い合わせ〉

朝比奈裕子 34-0985

伊藤 通子 38-1033

◀6月2日 設立総会

チャリティーバザール

“タクサンドウモアリガトウ”

“ジャンケンポン” “アイコデショ” 机などひとつの品物を何人もがほしい時は“ジャンケン”で決めるという約束があるので、お昼の時間にゲー、チョコ、パーの説明と練習をしました。当選者が決まっても、みんな納得できなように首をかしげています。また、衣類や日用雑貨などは、大にぎわいで楽しそうに選んで袋に入れ、“ドウモアリガトウ”と笑顔で帰っていきます。次回は、11月に予定しております。



4月14日 富山大学留学生会館

ボランティアグループ トヤマハンドインハンド

第28回

「ことばの日」国際交流の集い



5月18日(土) 富山県中央植物園ステージ

「ことばの日」国際交流の集い実行委員会では、5月18日をコ(5)トバ(18)とかけて、歌と踊り、フリーディスカッションを楽しむ野外ピクニック形式の交流会を開きました。各自が弁当を持ち寄り、お昼の食事を楽しみながら、自然の中でたのしい時を過ごしました。

編集後記

- アッ、「TCA」-NEWS-もあそこに並んでいるぞ!
国際交流ミニコミ紙誌展示会では、全国から100数種が参加展示されていました。それぞれの個性に目が心がゆれました。
- 「TCA」-NEWS-を作る時は、親しみやすいこと・読みやすいこと・「国際交流」という特徴を出すこと・会の活動を知ってもらうこと・会員同志の心の交流、ふれあい、親睦に役立てたら...などをいつも心がけていました。
- 「TCA」-NEWS-が、もっとステキなミニコミ紙誌となるために短い文でわかりやすく・写真を多く・文字を大きく、そして読み手の心を魅きつけること・製作者のひとりよがりになってはいけないことなど工夫しながら、努力していきたいと思っております。
- では、魅力ある「TCA」-NEWS-をお届け出来ますよう、皆様からのご寄稿をお待ちしますと共に、お気付きの点などご指導くださいますようお願い申し上げます。

広報委員長 岡田昌代